

調査研究活動実績

氏名 桑名龍吾

産業振興計画や国の経済対策の効果が相まって本県の経済指標は、確実に上昇し景気の回復も感じだしている状況と判断します。有効求人倍率も高い水準で安定をしており、今後は、さらに産業振興計画の理念でもある地産外商を加速化させていかなければなりません。

一方、仕事はあるのに人手がないと言った課題も大きく横たわっています。この人手不足は、あらゆる産業で起こっています。この人手不足を解消しなければまた、経済が縮んでしまう恐れがあります。これを解消するには①若者を留め、U ターンを促す政策の構築。② A I 、 I Tなどを活用した省力化の推進。③外国人材の受け入れ。④女性が、子育てや介護と仕事ができる環境の整備。⑤高齢者の就労促進などあらゆる政策を総動員をしていかなければなりません。

30 年度はこの問題を中心に政務活動を行って参りました。また、スポーツを医科学的に捉えるナショナルスポーツセンターや県有施設が自ら利益を生む仕組を調査に研修を行ったところです。

政務活動費を活用した主な調査は下記の通りです。

以上の調査研究事項は本会議・委員会で活用しました。

平成 30 年度調査研究項目

- 合区の早期解消促進大会に参加
- ナショナルトレーニングセンター視察
- グラウンドフェンス広告事業について研究
- 消防設備点検の入札方法の調査
- 地方銀行フードセレクション視察調査